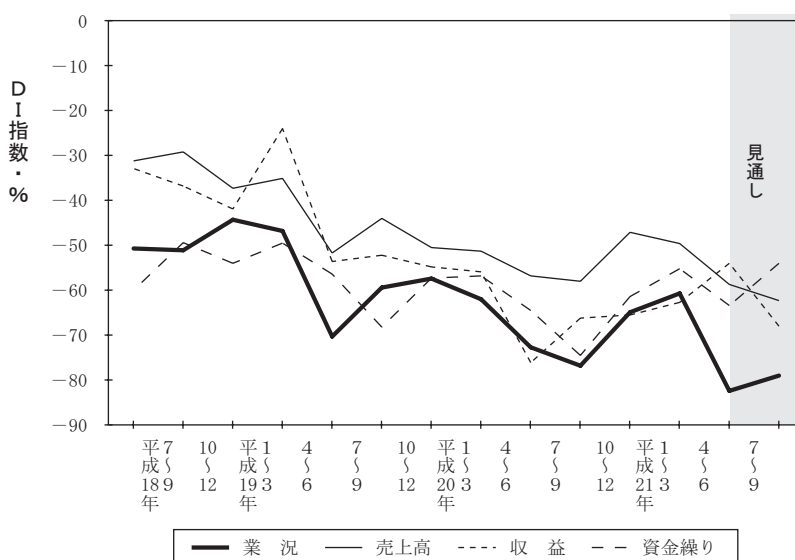


\* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、-83と22ポイント悪化傾向を大きく強めました。売上額は減少傾向を強め、収益は9ポイント減少傾向を弱めました。価格面では、販売価格は横ばい、仕入価格は大きく上昇傾向を弱めました。在庫は若干不足傾向を弱め、資金繰りは窮屈感が強まりました。残業時間はわずかに減少傾向を弱めました。人手は若干不足感を弱めました。設備の状況は-21と3ポイント不足感を弱めました。設備投資については、車両などで、前期同様7%の先が実施しました。

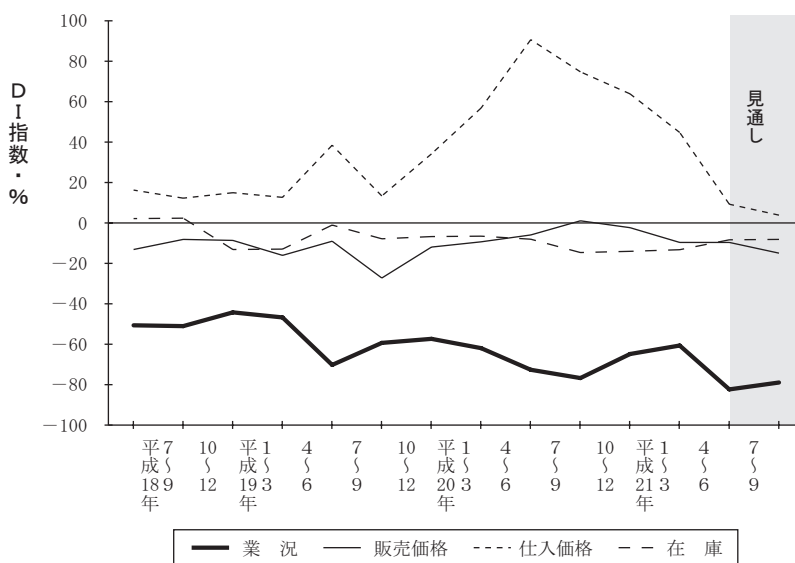
景況の推移



来期の見通し

業況は-79と今期に比べ4ポイント悪化傾向が弱まるとみています。売上、収益はともに減少傾向を強めそうです。価格面では、販売価格は下降傾向を強め、仕入価格は上昇傾向を弱めるとみています。在庫はわずかに不足感が弱まりそうです。資金繰りは窮屈感が弱まるとみていますが、依然窮屈感が続きそうです。残業時間は減少傾向が強まり、人手は過剰に転じるとみています。設備の状況は不足感が強まりそうです。設備投資については、事業用土地建物などで、今期同様7%の実施予定としています。

主な指標の動き



調査員のコメント

- 地域経済の低迷により、客足が遠退き、年々売上が減少している。地域の活性化なしに業況の改善は厳しい。(飲食業)
- 今年4月以降業況はさらに悪化し、出前等の減少により売上も減少している。売上の向上策等はないが、経費削減をおこない、固定客相手に営業している現状である。(一般食堂)